

令和元年 10月 31日

第 522 号

横浜市立日吉台小学校

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

ひよびだい

令和元年度、折り返し地点を過ぎ、後期へ

校長 玉置 恭美

日本には、四季折々の自然の美しさを感じられる風情がありますが、近年、春と秋を感じる期間が短くなったという声が聞かれます。10月の初旬まで暑さが残り、日によっては冷房が必要でした。校庭で遊んだ後、ミストシャワーの下に行列ができなくなったのが、つい最近のように感じられますが、暦は11月を迎えます。

10月11日で前期を終え、節目の終業式の後、あゆみが配付されました。今年度当初に、各自が実現可能な目標を立てましようという話をしました。学年やクラスでも、めあて、目標をたて、その達成に向けて頑張ってきたのでしょう。誇らしげな顔がたくさん見られました。上級生は、後輩たちのお手本になるように、低学年は自分でできることの数を増やせるように、努力する姿が見られます。

先日の朝会でも話をしましたが、「4年に一度じゃない、一生に一度だ」のキャッチコピーの下、ラグビーワールドカップ2019が、地元港北区の横浜国際競技場も含め日本の会場で行われています。ブレイブブロッサムズのチーム名を轟かせた日本代表チームの、予選リーグ全勝、決勝リーグ進出は史上初の快挙で、日本全体に元気と勇気を与えてくれました。その日本代表選手一人ひとりが前回大会の後、しっかり振り返りをし、今回の大会に向け目標を立てていたそうです。そのチームが気持ちを一つにしてまさに、“One Team”として大きな成果を残しました。目標を決め、それに向かって努力を続けることの大切さ、そしてその実現が可能であることを示してくれた日本代表ラグビーチームのように、日吉台小の児童たちが年度末に向け、一つ一つ、目標を達成しながら成長してくれることを心から期待しています。

日吉台小地域防災拠点訓練がありました

2度の大きな台風により、学校周辺も停電があったり、立木が倒れたり、校舎では窓枠に設置したフレームが落下したりしました。港北区内の小学校で7か所が19号台風の際に避難場所として開設され、延べ1700人を超える避難者があったそうです。日吉台小学校は、大規模地震を想定しての防災拠点となっています。避難所の開設は区役所から担当者が来校するか、区から自治会担当者に依頼があって実施されます。今回の台風では、日吉台小学校は避難所としては開設されませんでした。港北区37万人の避難場所としては、地域の小学校すべてが開設されたとしても、人口の一割も収容できないそうです。主体は「自助」→自宅避難です。避難場所は、自宅が危険で、いられない場合に限り、飲食物や衣類等をもって避難してくる場所です。互いに助け合う「共助」、そして、隣近所に一声かける「近助(きんじょ)」とともに大切にしたい防災の心得です。断水になった時の簡易トイレ、3日分の水、給水所へ行くための大きなペットボトル、カセットガスコンロ、ビニール袋等の備えの確認をしましょう。



10月27日日吉地区総合防災訓練 140名参加

港北区37万人の避難場所としては、地域の小学校すべてが開設されたとしても、人口の一割も収容できないそうです。主体は「自助」→自宅避難です。避難場所は、自宅が危険で、いられない場合に限り、飲食物や衣類等をもって避難してくる場所です。互いに助け合う「共助」、そして、隣近所に一声かける「近助(きんじょ)」とともに大切にしたい防災の心得です。断水になった時の簡易トイレ、3日分の水、給水所へ行くための大きなペットボトル、カセットガスコンロ、ビニール袋等の備えの確認をしましょう。